学校番号	1011

令和８年度　学 国際教養

教科	学 国際教養	科目	(学)韓国朝鮮語 A	単位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書							
副教材等	新・好きやねんハングルⅠ －（白帝社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

ハングルの基本母音・子音を学び、基本的な文法事項や生活会話表現を学習します。また、音楽や料理を通して韓国の生活文化についての理解を深めましょう。

2　学習の到達目標

韓国朝鮮語を通じて､隣国である韓国の言葉や文化に対する理解を深め積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り､情報や相手の意向などを理解したり自分の考えを表現したりするコミュニケーションの基礎的能力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	韓国朝鮮語の基礎的な母音･子音などの音声や語彙､表現、文法、言語の働きなどについて理解できる。基本的な文法事項や生活会話表現を理解する。現代文・古文を問わず多彩な文章に慣れ親しむことで一般的な読む力をみにつける。	韓国朝鮮語の基礎的な音声や語彙、表現、文法、言語の働きをもとに日常生活で必要な手紙などの基礎的な文章作成や自分の考えの発表を行うことができる。コミュニケーションを行う場面、状況などに応じて、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	韓国朝鮮語の基礎的な内容だけでなく、家庭生活・学校生活・自然の景色など背景にある文化に対する理解を深めようと取り組んでいる。 文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に韓国朝鮮語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	基本の文字と発音	ハングルの母音・子音を学習する。ハングルの読み方法則について学ぶ。	a: ハングルの母音・子音を理解できているか。 b: 韓国朝鮮語を活用して表現したり伝え合ったりしている。 c: 聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとしている。	確認テスト ノート	確認テスト 課題提出 ノート	ワークシート 課題提出
	基本文の練習	ハングルの文の構成等の特性について学ぶ。ハングルで挨拶・自己紹介ができるように学習する。	a: 音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解できる。 b: 韓国朝鮮語を活用して表現したり伝え合ったりしている。 c: 聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとしている。	確認テスト ノート	確認テスト 課題提出 ノート	ワークシート 課題提出
2	日本と韓国の歌	日本の歌・韓国の歌を聞きながら音に慣れる練習をする。韓国の伝統文化について学ぶ。	a: 音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解できる。 b: 韓国朝鮮語を活用して表現したり伝え合ったりしている。 c: 背景にある文化に対する理解を深めようと取り組んでいる。	確認テスト ノート 暗唱	確認テスト 課題提出 ノート	ワークシート 課題提出
	日常会話	日常生活の会話について学ぶ。韓国の映画、および料理を知り文化歴史についての理解を深める。	a: 音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解できる。 b: 韓国朝鮮語を活用して表現したり伝え合ったりしている。 c: 聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとしている。	確認テスト ノート	確認テスト 課題提出 ノート	ワークシート 課題提出
3	文化に関する文章を読む	ハングルの基本的な文法や表現を学習し文化に関する文章の講読を行う。	a: 音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解できる。 b: 韓国朝鮮語を活用して表現したり伝え合ったりしている。 c: 聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとしている。	確認テスト ノート 暗唱	確認テスト 課題提出 ノート	ワークシート 課題提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度